

図書館だより

NO. 161 2011年 9月号
(2011年9月1日発行)

はつかいち市民図書館
電話(0829)20-0333
廿日市市下平良 1-11-1

ホームページ <http://www.hiroshima-hatsukaichi-lib.jp/>

子どもと本の講座

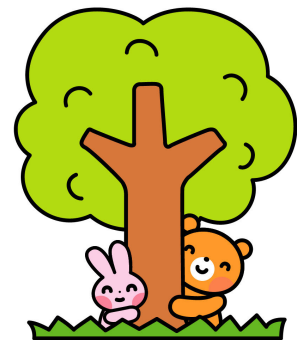


「子どもの成長と絵本」



子どもの成長とそれに合った絵本の選び方・読み聞かせについて、長年多くの子どもたちの成長を見守ってきた講師が、実演も交えてお話しします。

と き	9月14日(水)10:00~12:00
ところ	廿日市市役所 7階会議室
内 容	「子どもの成長と絵本」
講 師	広島女学院ゲーンズ幼稚園園長 菊野 秀樹 氏
対 象	一般
申込み	不要です(直接会場までお越しください)
問合せ	はつかいち市民図書館 【☎ 0829-20-0333】



今月の展示

<さくらびあ展示> 『55 (ゴーゴ) ミッフィー』

今年は、ミッフィー(うさこちゃん)生誕55周年です。みんなの大好きなミッフィーが10月16日(日)さくらびあ大ホールにやってきます。廿日市音楽祭「ミッフィーのせかいりょうこう」を見て、ディック・ブルーナさんの絵本も手にとってみませんか?

<中 央 展 示> 『中学生がおすすめる本』

8月23日(火)~26日(金)の4日間の職場体験の活動のなかで、野坂中学校の生徒2名と、七尾中学校の生徒4名が、お勧めの本を集めて展示コーナーを作りました。中学生から大人まで読んでもらいたい本を、恋愛・友情・ホラー・ミステリーの4つのジャンルにわけて展示しています。

<テーマ 展 示> 『広島本』

最近出版された『広島学』はとても人気があり、図書館では予約がたくさんはいています。広島に関する様々な図書は、広島県資料の本のコーナーに集めてありますが、奥まったところにあり利用が少ないのが残念です。そのコーナーから、広島のレストランの本や美味しいラーメンの店に関する本等、広島に関する実用書を集めてみました。



ヤングアダルトって？

子どもから大人へ、成長していく時期にある12～18歳くらいの若者たちのことを表した言葉です。ヤングコーナーに入った本の新刊を毎月紹介します。

『君に伝えたい！』

『学校や友達とのルール』

義家弘介／著 C&R研究所 159.70

ひとりでいることは恥ずかしいこと？ 友だちとケンカするのはいけないこと？ 学校生活や友だち関係の中で生まれた疑問に、ヤンキー先生こと義家弘介さんが、ひとつひとつ丁寧に向き合っていて答えています。今悩んでいる「あなた」へ、ヤンキー先生が伝えたい「おもしろい」が詰まった1冊です。

『二番目のフロアー』上・下

イザボー・S. ウィルス／著 東京創元社 933ウ

一万一千の部屋を持つ屋敷に暮らす少女・フロアー。本来なら魔法の執事が管理しているはずの屋敷は、彼が居ないせいで荒れ放題。ある日、屋敷の中で見知らぬ図書室に迷い込んだフロアーは、そこで追放された執事と出会う。彼を復活させようとしたフロアーだったけれど、なぜだか自分の存在が消え始めて…。



中学生が職場体験にやってきました！



8月23日（火）～26日（金）の4日間、野坂中学校の生徒2名と、七尾中学校の生徒4名が職場体験にやってきました。

職場体験の意義は、「学ぶこと」「働くこと」「生きること」をつなげる場を作ることにあります。

はつかいち市民図書館でも、カウンターで返却や貸出を行ったり、返ってきた本を本棚に戻す作業をしたり、予約資料の電話連絡や傷んだ資料の修繕など、図書館の仕事を体験してもらいました。ブックスタートの見学に行った際には、実際に赤ちゃんを抱っこさせてもらい、一緒に絵本にふれ合うという貴重な機会も。



そして、今月の中央展示は、中学生たちが選んで集めたオススメの本を展示しています。

中学生から大人まで読んでもらいたい、恋愛・友情・ホラー・ミステリーの本です。

ドキドキする恋の本、友だちについて改めて考えさせられる本、背筋がゾットするようなコワ～イ本、初心者でも楽しめるような面白いミステリーの本をたくさん集めていますので、この機会にぜひ手にとって読んでみてください。

9月29日（木）まで展示しています。

新刊

ことものほん

『いきもの歳時記 秋』

古館綾子/文 館あきら他/写真 小林絵里子・絵
童心社 911/7 (シリーズで春、夏、冬もあり)

俳句には、私たちが生活の中で感じる季節を表すことば(季語)が入っています。例えば秋の季語「秋刀魚」は、代表的な秋の味覚であると同時に、養殖ができないことから、本物の旬を感じる事ができるものです。このような季節感溢れるいきものを、写真やイラストを交えて、小学生にもわかりやすく紹介したシリーズです。

『狛犬「あ」の話』

柏葉幸子/作 安藤貴代子/絵 講談社 913/カ

「西風が本当の真西から吹く夜には、ほこらから雨ふらし様がいできてきて、子どもを食ってしまう。」小学5年の瞳子は、昔話を研究する祖母の家に一人で泊まりに来ました。そして、空を駆ける狛犬「あ」に乗り、雨ふらしを追って、捨て子が狙われている場面に出くわします。瞳子は捨て子を救えるのでしょうか?『花守の話』の続編。

『子ども寄席 秋冬』

六代目 柳亭燕路/作 二俣英五郎/絵 日本標準 913/リ

落語が演じられるようになったのは、約350年前ですが、今でも人気の娯楽です。現役の落語家子どもたちのために書いたこの「読む落語」。「いれこみ」「仲入り」「うちだし」と称した解説もあり、本物の寄席の雰囲気も味わえます。座布団とお茶を用意してゆっくり読むもよし、声に出して演じてみるもよし。思わず笑ってしまうはず。

『おじいちゃんの手』

マガレット・H・メイソウ/文 フォド・クーパー/絵
もりうち すみこ/訳 光村教育図書 E/ク

「どうだ、ジョーゼフ、わしの手は。」まだまだたっしゃなわしの手で、お前に教えてやろう。ピアノやトランプ、野球を。そしてわしができなかった仕事の話をして…。1950年代のアメリカで実際にあった、職業差別をなくす闘いを、新しい時代を生きる孫に語る物語。



<今月の新着(一般書)>

図書館には1カ月に約600冊の新刊が入ります。その一部を紹介します。

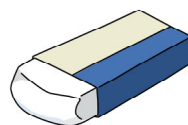
- 『自分の考えをまとめる図解の技術』 西村克己/著 中経出版 002.7/ニ
- 『好胤のことば』 高田好胤/著 学生社 188.2/タ
- 『日本の絶景』 富田文雄/写真 パイインターナショナル 291.0/ト
- 『中高生からの平和憲法Q&A』 高田健/著 館正彦/著 晶文社 323.1/タ
- 『ふたたび、ここから 東日本大震災(2011)』 池上正樹/著 ポプラ社 369.3/イ
- 『宮本常一とあるいた日本 5』 田村善次郎/監修 農山漁村文化協会 382.1/ミ
- 『すごい実験 素粒子』 多田将/著 イースト・プレス 429.6/タ
- 『マダガスカルがこわれる』 藤原幸一/写真・文 ポプラ社 462.4/
- 『昆虫顔面図鑑 世界編』 海野和男/著 実業之日本社 486/ウ
- 『看護者のための精神薬物療法Q&A』 辻脇邦彦/編集 中央法規出版 492.9/カ
- 『木の家リフォームをする本』 「木の家リフォーム」プロジェクト/著 農山漁村文化協会 L527/キ
- 『放射能と生きる 福島第一原発発電所事故(2011)』 武田邦彦/著 幻冬舎 S543.5/タ
- 『山口くちこみグルメ』 ザメディアジョン 596/ヤ
- 『世界の切子ガラス』 谷一尚/著 里文出版 751.5/タ
- 『介護退職』 楡修平/著 祥伝社 F/ニ
- 『馬たちよ、それでも光は無垢で』 古川日出男/著 新潮社 F/ワ

お忘れではございませんか？

忘れ物の展示



図書館では、メガネ、メガネケース、ハンカチ、ボールペン、上着や帽子、傘など、たくさんの忘れ物があります。はつかいち市民図書館内における忘れ物の展示をおこないます。お心あたりの方はお持ち帰りください。



展示期間 9月2日（木）～9月29日（木）

9月の図書館カレンダー

日	月	火	水	木	金	土
				1 休館	2 ◎	3
4	5 休館	6	7	8	9	10 ★
11	12 休館	13	14	15	16 ◎	17 ■
18	19	20 休館	21	22	23	24 ★
25	26 休館	27	28	29	30 休館	

◎ちいさいこのためのおはなし会

【対象】乳幼児

【時間】1回目 11時～

2回目 11時30分～

※整理券を相談窓口で配布します

☆おはなし会

【対象】幼児～小学校低学年

【時間】11時～

■ストーリーテリングのおはなし会

【対象】幼児～

【時間】11時～

